

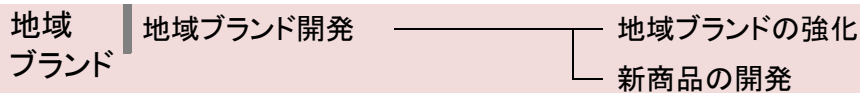
## 第2節 地域ブランド



### 現況と課題

- ◆ 地域間競争で優位に立ち、従来以上に活性化を図っていくには、地域のブランド価値を高めることが重要です。
- ◆ ハタオリマチフェスティバルやフジテキスタイルウィークの開催などにより「富士吉田は機織りの街」というイメージが徐々に浸透してきています。今後も様々な施策を展開する中で織物の認知度が向上するよう情報発信を図っていきます。
- ◆ 富士吉田織物協同組合事務所では、従前の織物製品販売に加え、市内織物事業者の案内窓口機能を付加するとともに、地域ブランド「ふじやま織」の使用規約を定め活用を開始しました。
- ◆ 世界文化遺産である富士山の活用も含め、新たなブランド戦略も必要であり、オリジナルな名産品開発と市場開拓、観光との連携などが求められます。
- ◆ 地場産業のブランド化については、産業を観光資源と捉え、工場見学やそれを活用した新たな販路、拠点づくりなどの検討も必要とされます。

### 施策の体系



● 地域ブランド「ふじやま織」



## (1) 地域ブランド開発

### ①地域ブランドの強化

「ふじやま織」のブランドを強化するため、長い歴史と高級ブランド製品を製造してきた高い技術力を基礎に、本地域が優れた繊維の産地であることの認知を向上させ、地域ブランドの確立を図ります。そのために、富士吉田織物協同組合への協力による市場への売り込みに加え、産業を観光資源と捉え新たな販路開拓を行います。織物工場での工場見学が可能なハード整備支援や直接見学できる仕組みづくり等、それらを活かした新しい販路の開拓、新たな地場産業振興拠点施設整備の検討なども進めます。また、富士山とその景観を活かした観光や高冷地の特性と豊富で清らかな水を活かした農産物などの地域ブランドを強化します。

### ②新商品の開発

当市の地域資源を最大限に活かした商品開発に取り組みます。富士山が世界文化遺産に登録され、国内外から注目を浴び、来訪者も増加していることから、国内外から訪れる観光客等に対し、地場産業である織物だけでなく、富士山ともに生きてきた歴史や文化、美しい景観、長い年月で培った技術、豊富で清らかな水などの地域資源を最大限に活かした新商品の開発を進めていきます。

### ●「ふじやま織」の製品

